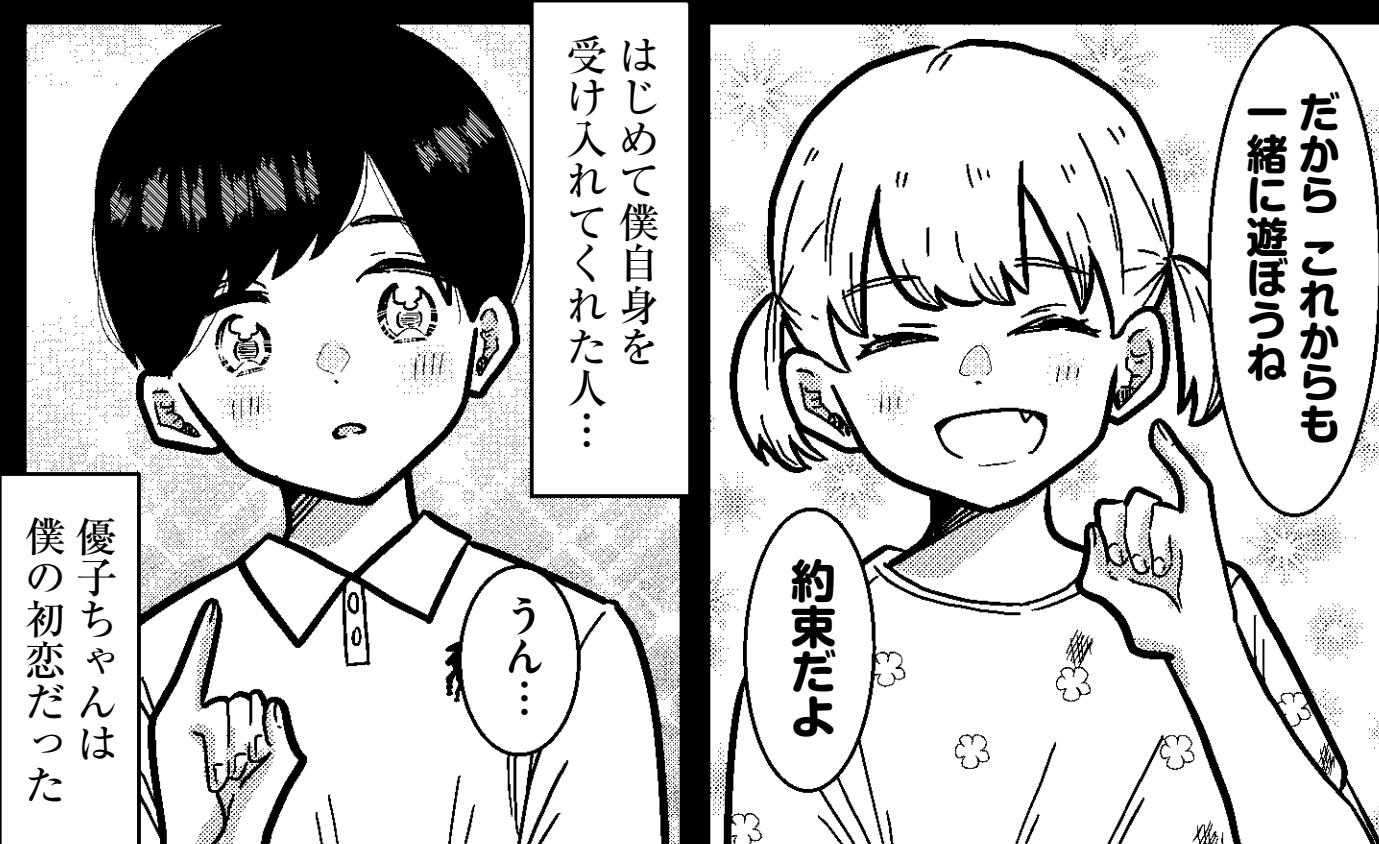
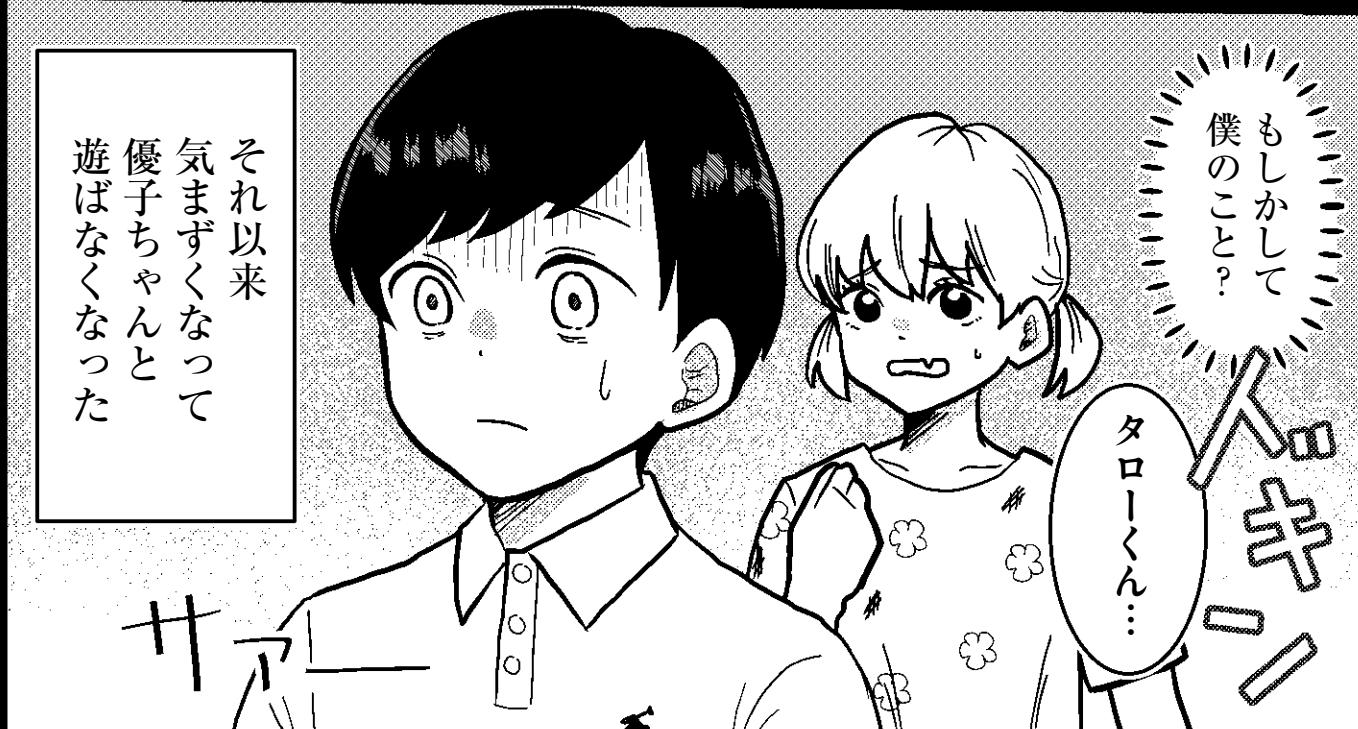




明るい優子ちゃんに
いつも笑顔のおばあさん







あの頃からだ
家に縛られて いるように
感じたのは：

進路希望なんて
相談しても
意味ないよな

窮屈さは
増え続けてる

ただいま

うわ
また親父の
客が来てる…

こつちきて
挨拶しろ

太郎か



またこれかよ
僕を見ないで
親父の話ばっかり

山田一郎

やまだいちろう

高な社会を。
の実現。

ここにいる誰も
僕自身の「希望」には
かけら
欠片も興味がないんだ

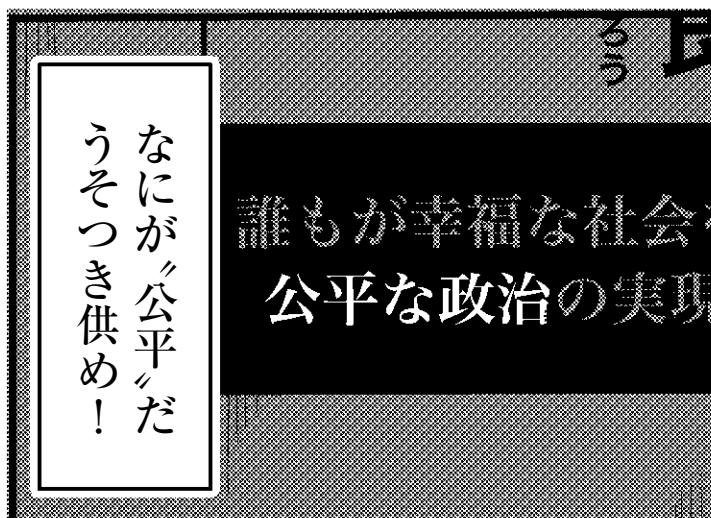
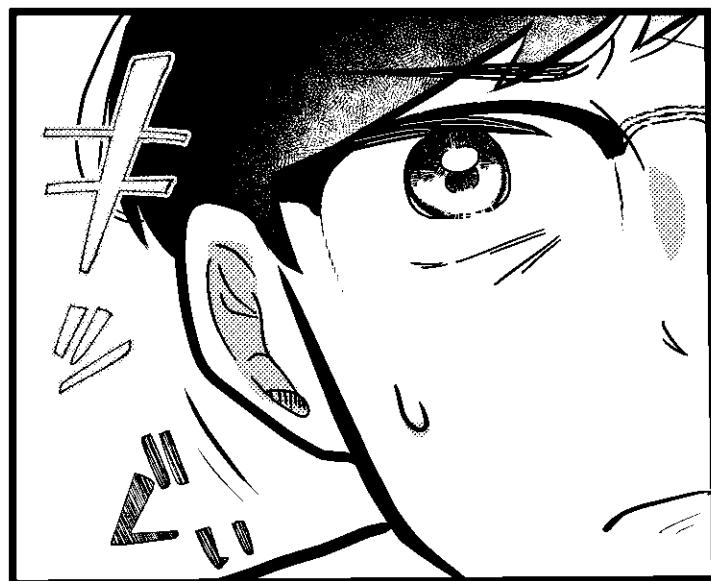
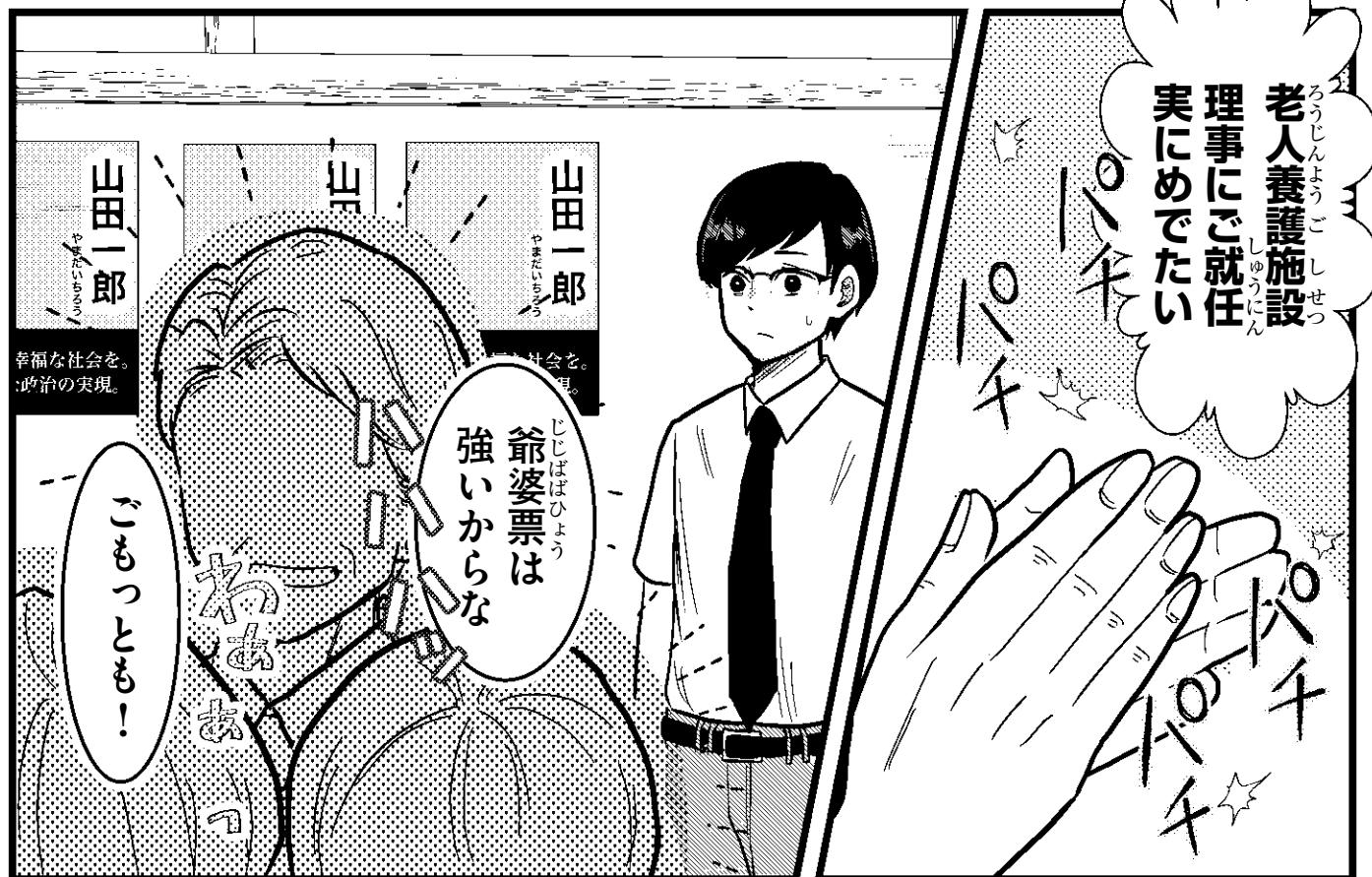


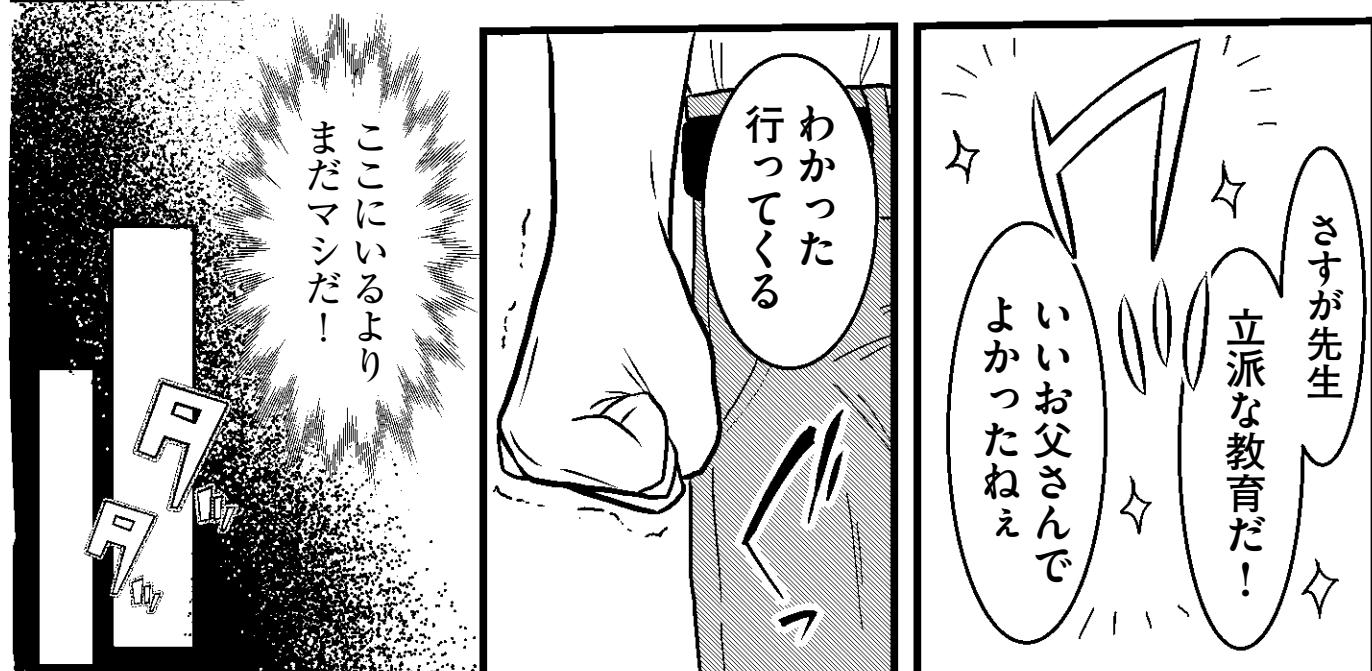
…そうですね

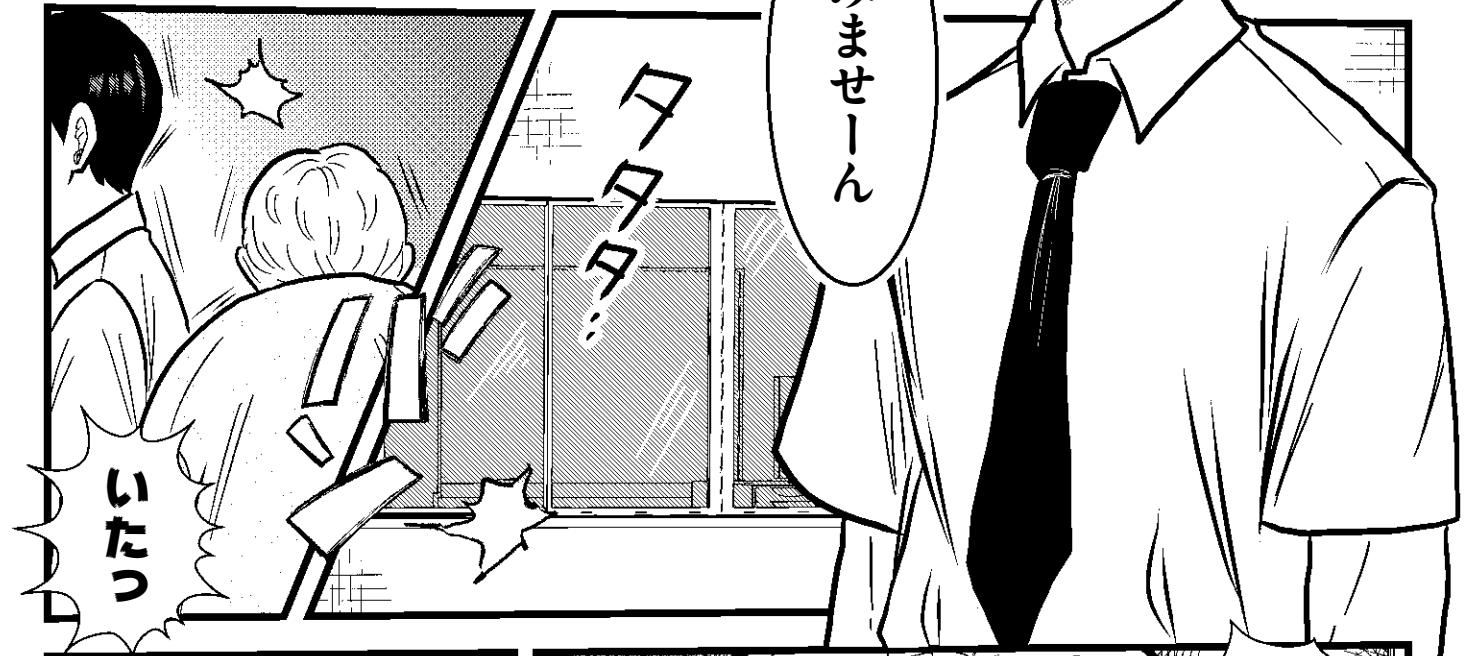
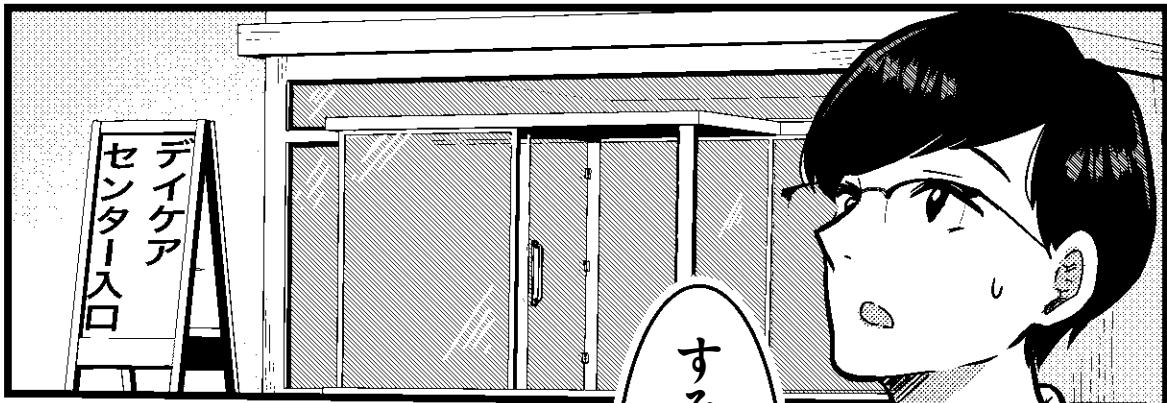
あーあ
こいつら
全員くたばれ

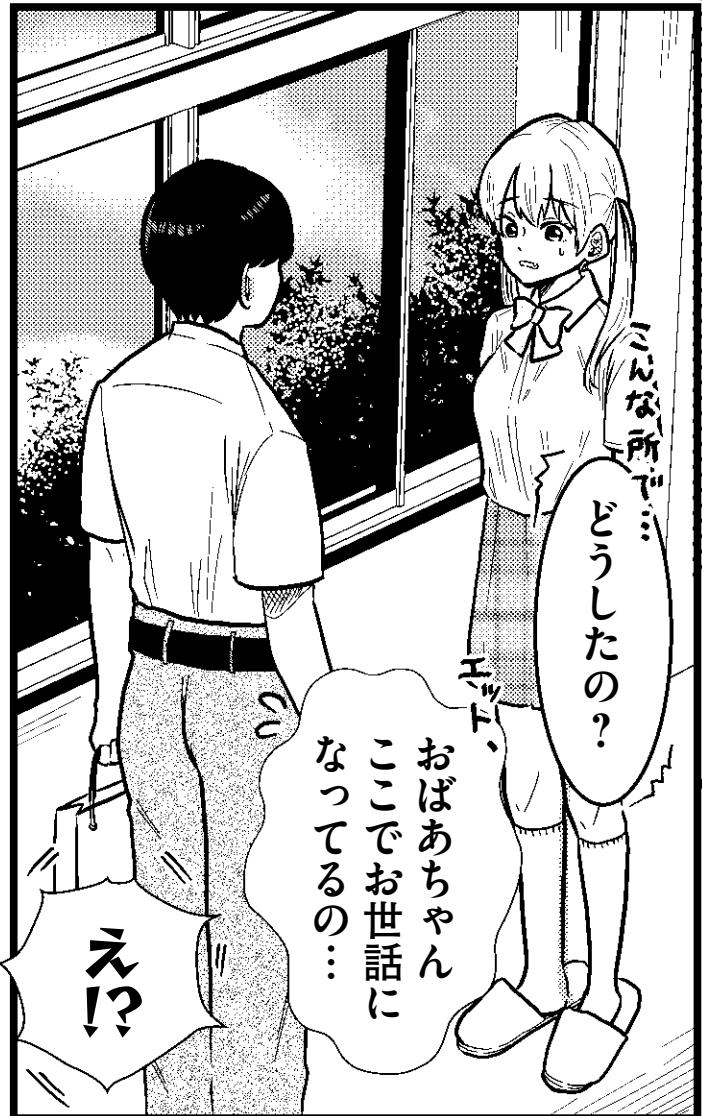
それにしても
先生この度は

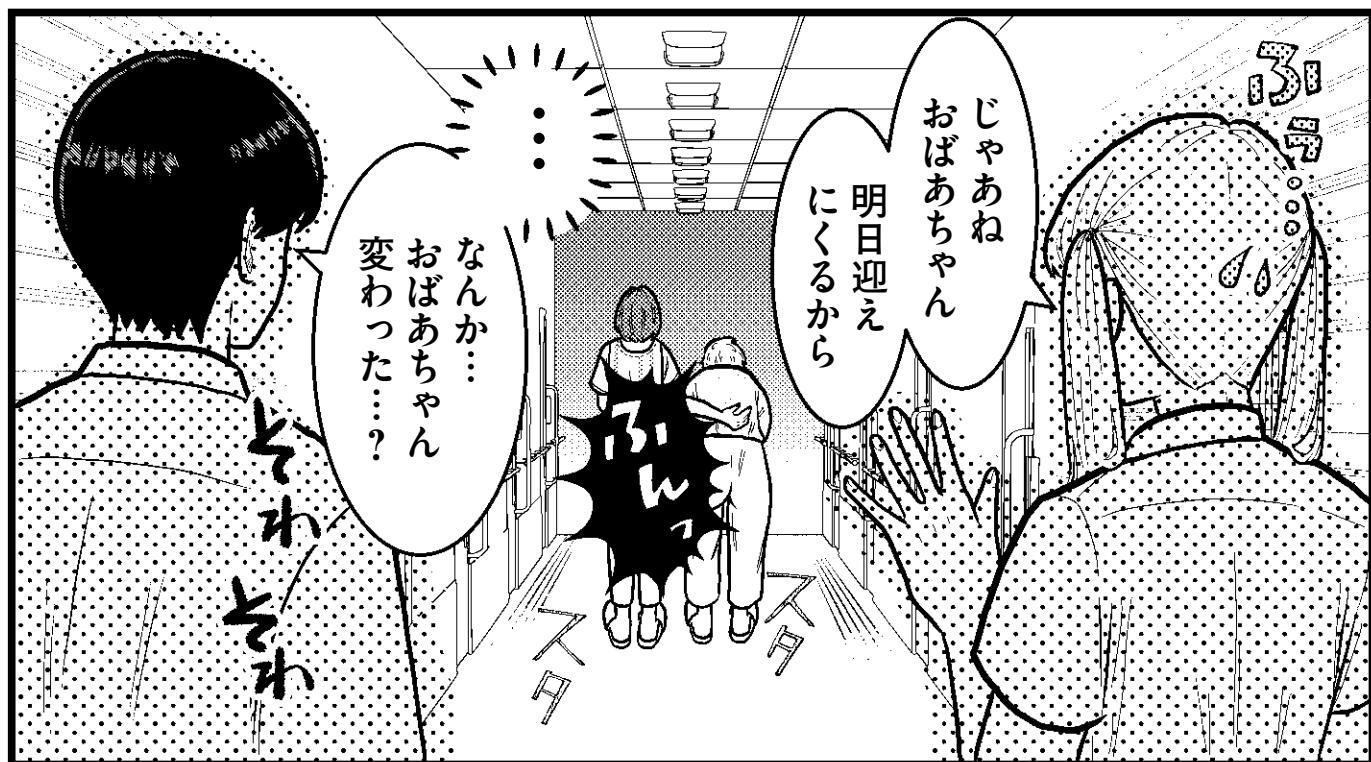
はは

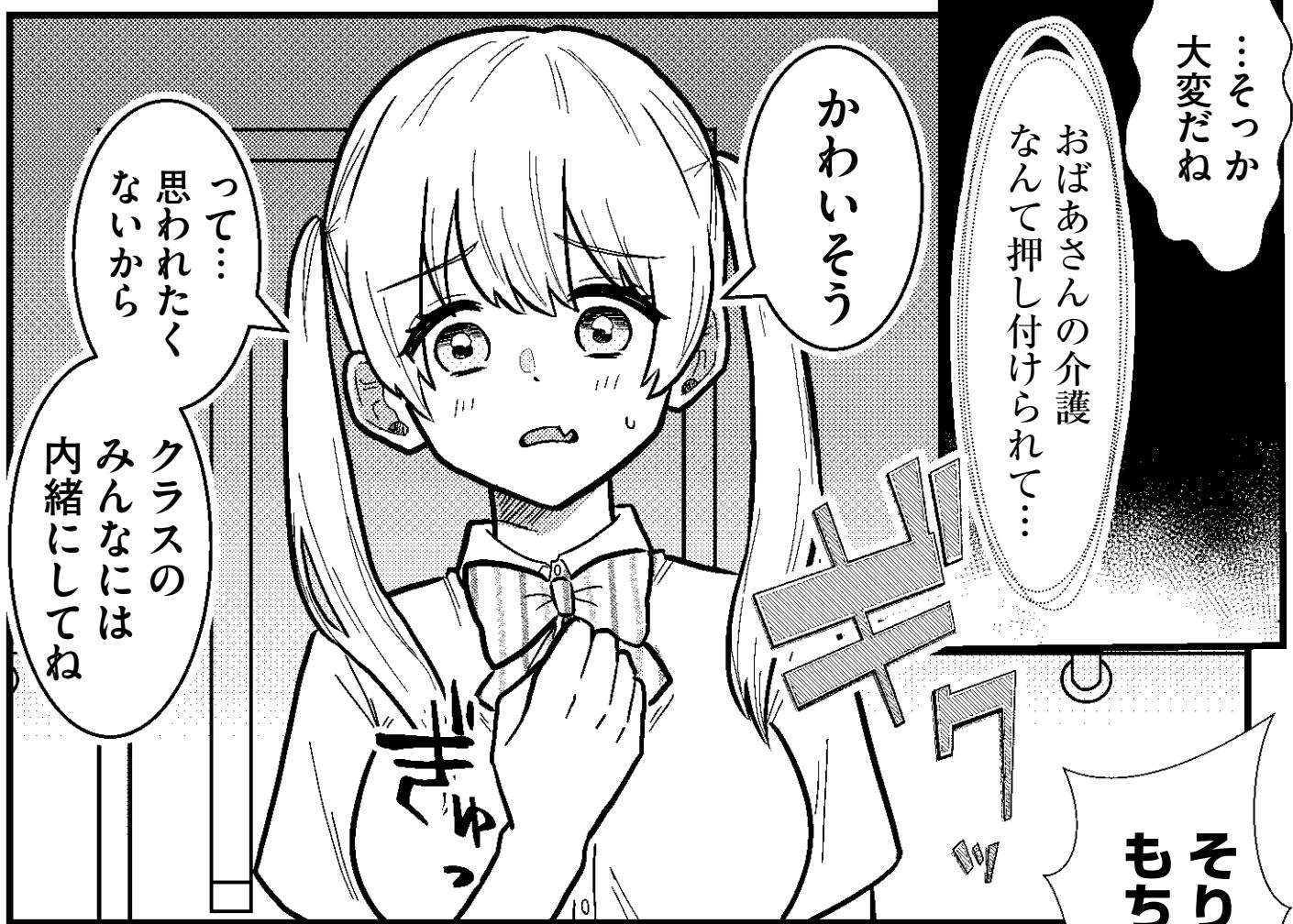




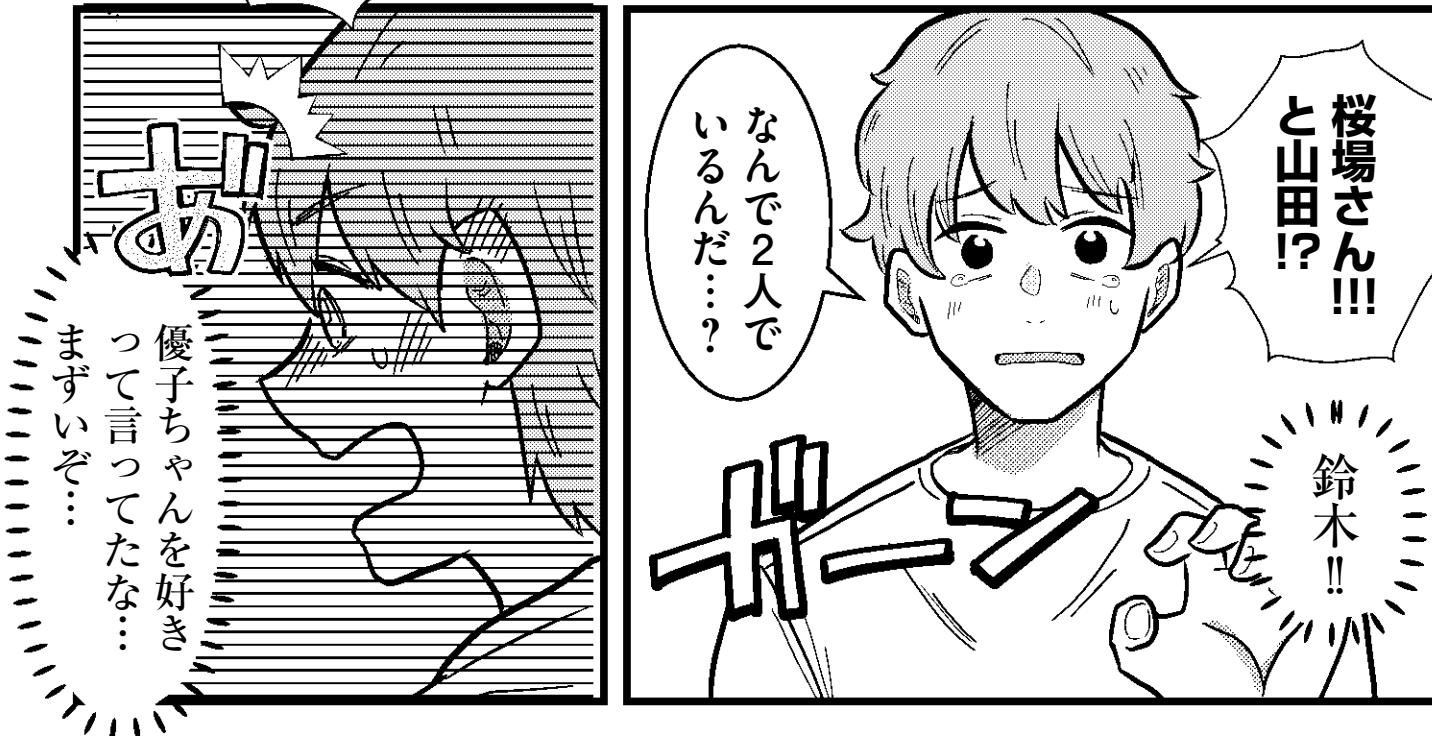


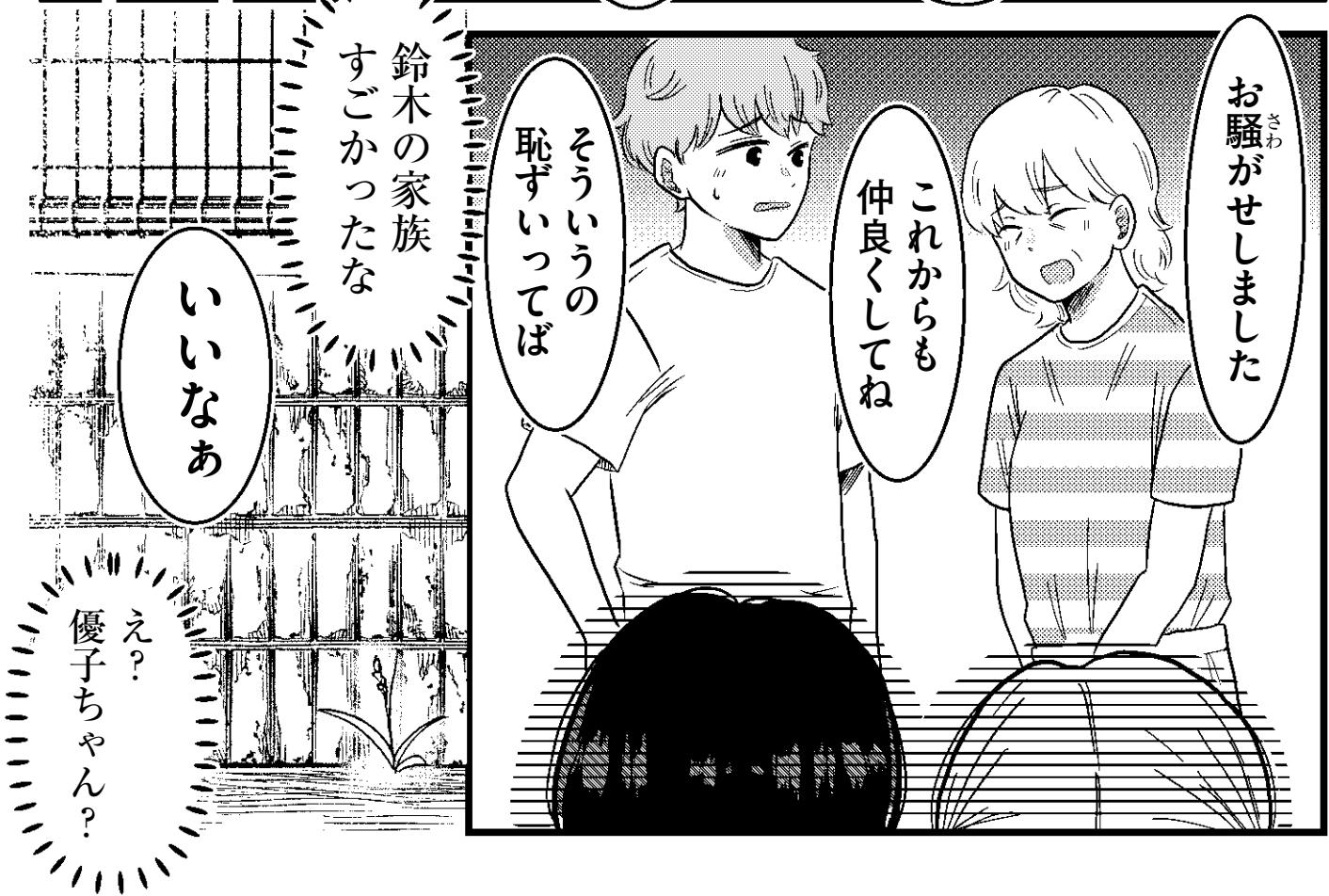
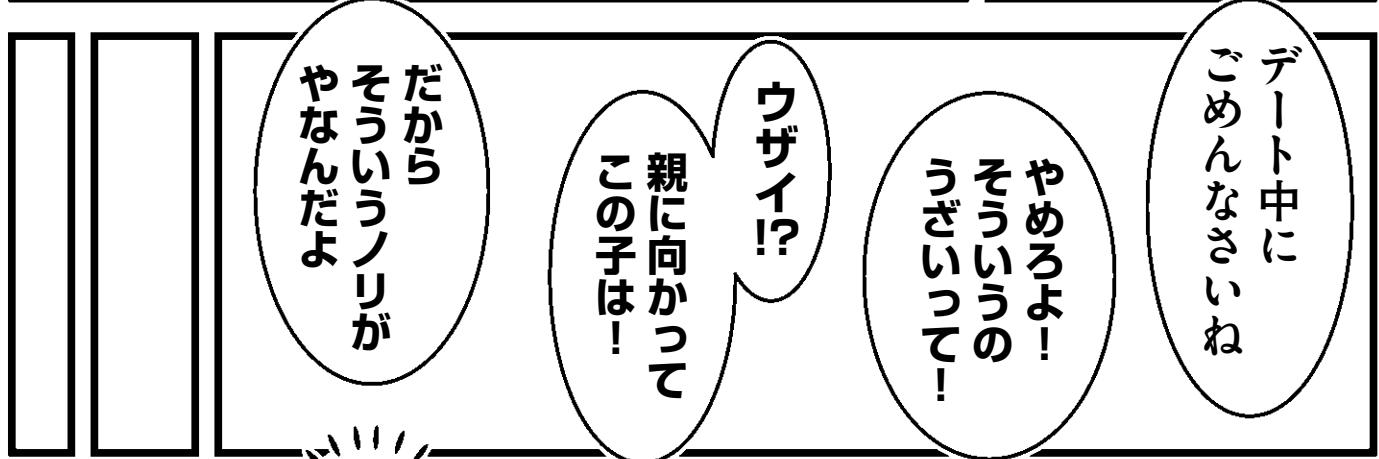


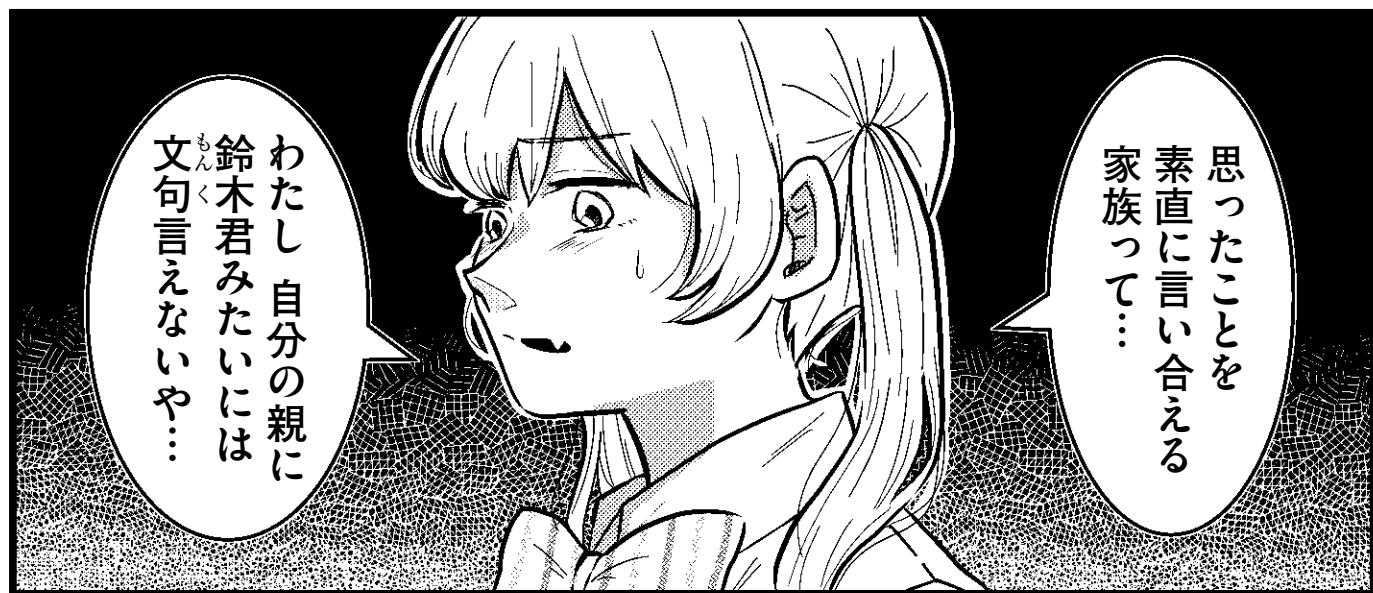












優子ちゃんと昔の様に
過ごしたくて 僕は
施設に通う様になつた

僕らは空白の
期間を埋める様に
たくさん話をした

介護があるから
地元に残らなきや

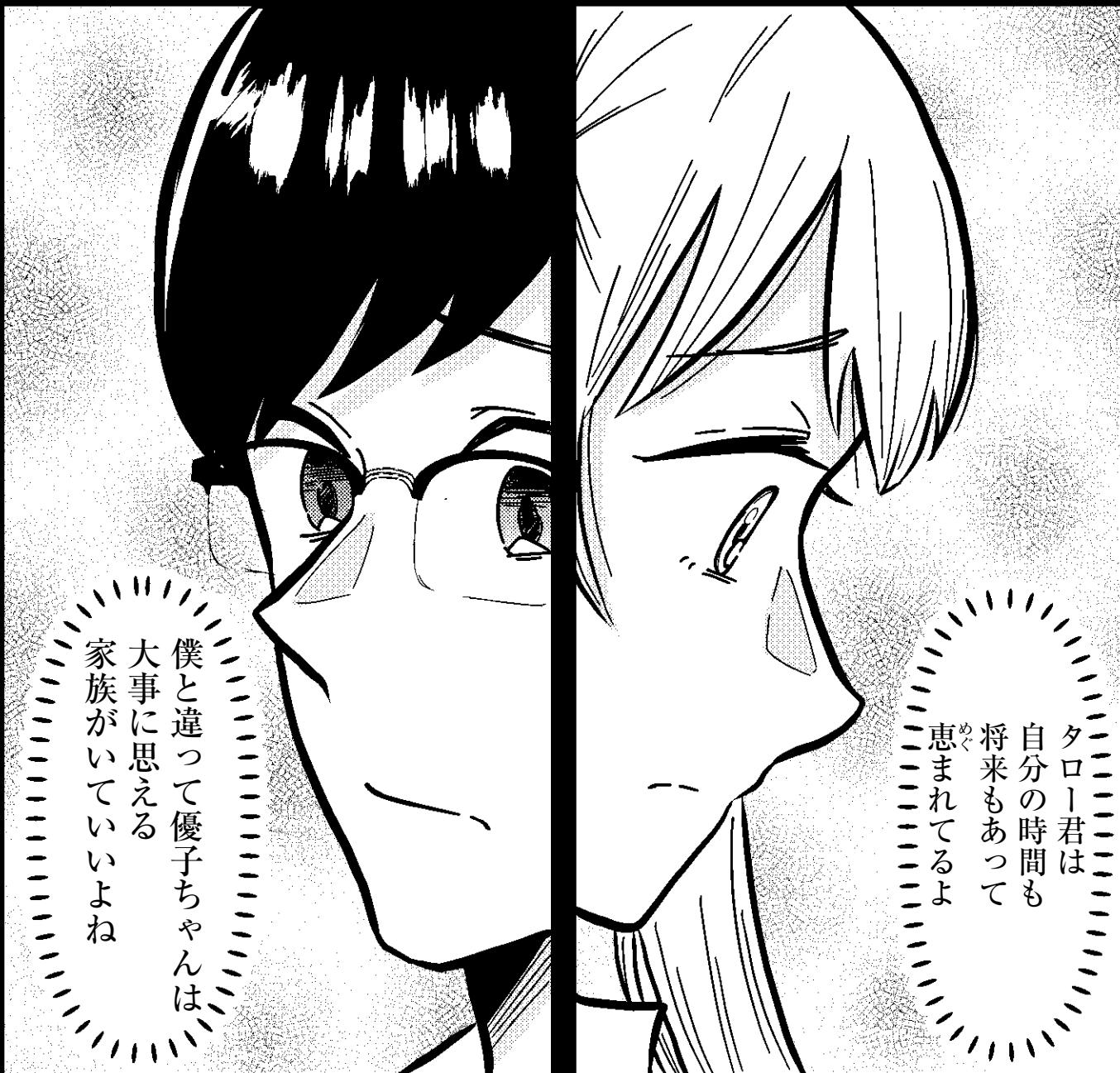
卒業前にもつと
友達と遊んだり
部活したかつたなあ

おばあちゃん
ボケちゃつてから
別人だよ

誰も僕自身を
気にかけちゃくれない

親も周りの大人も
僕の将来を
決めてかかるてる

家が裕福なだけで
僕が特権を持つた
ずるいやつだつてさ



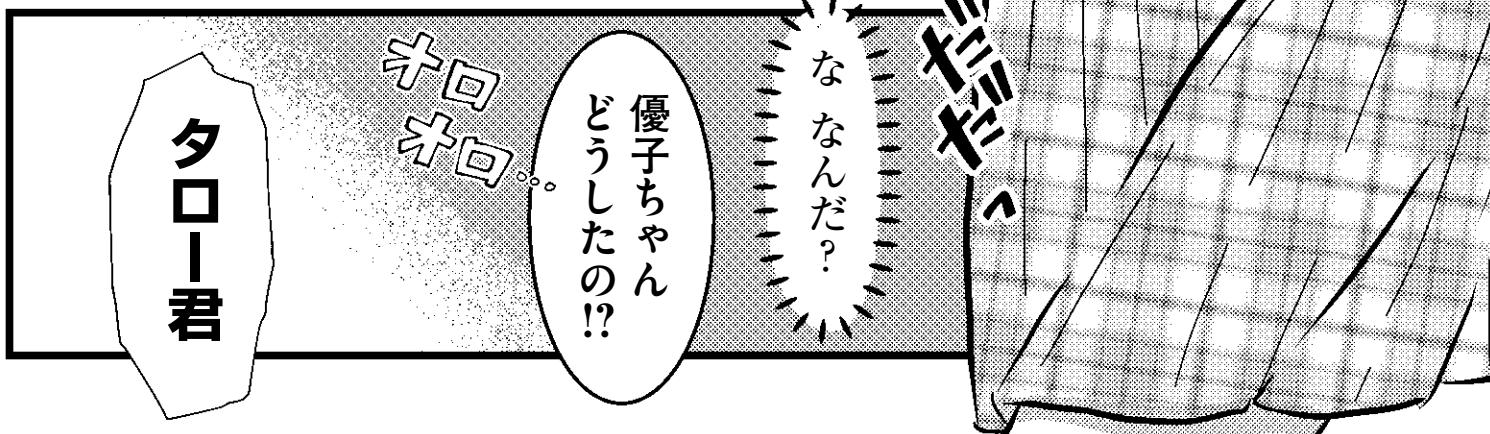
僕と違つて優子ちゃんは
大事に思える
家族がいていいよね

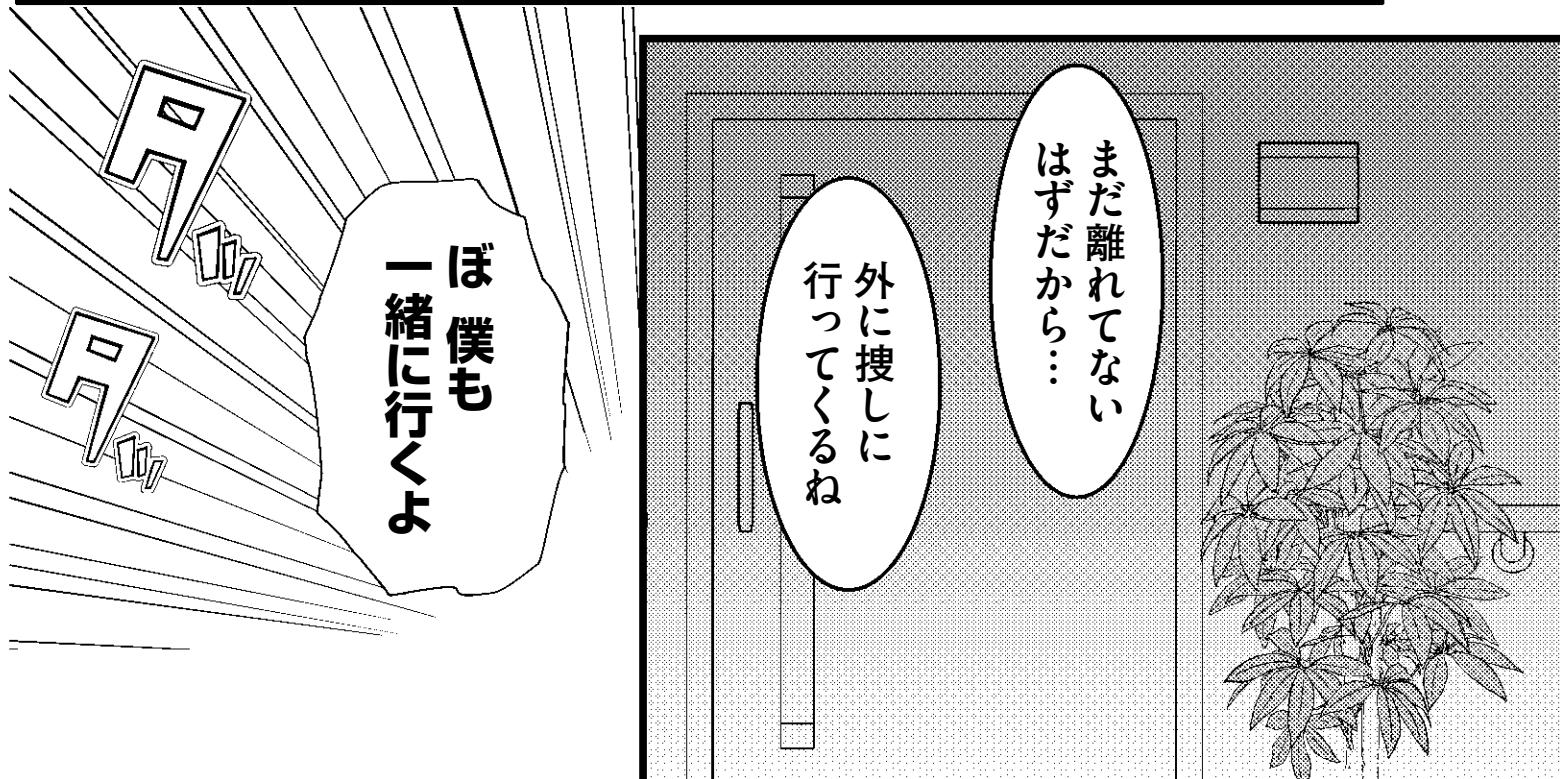
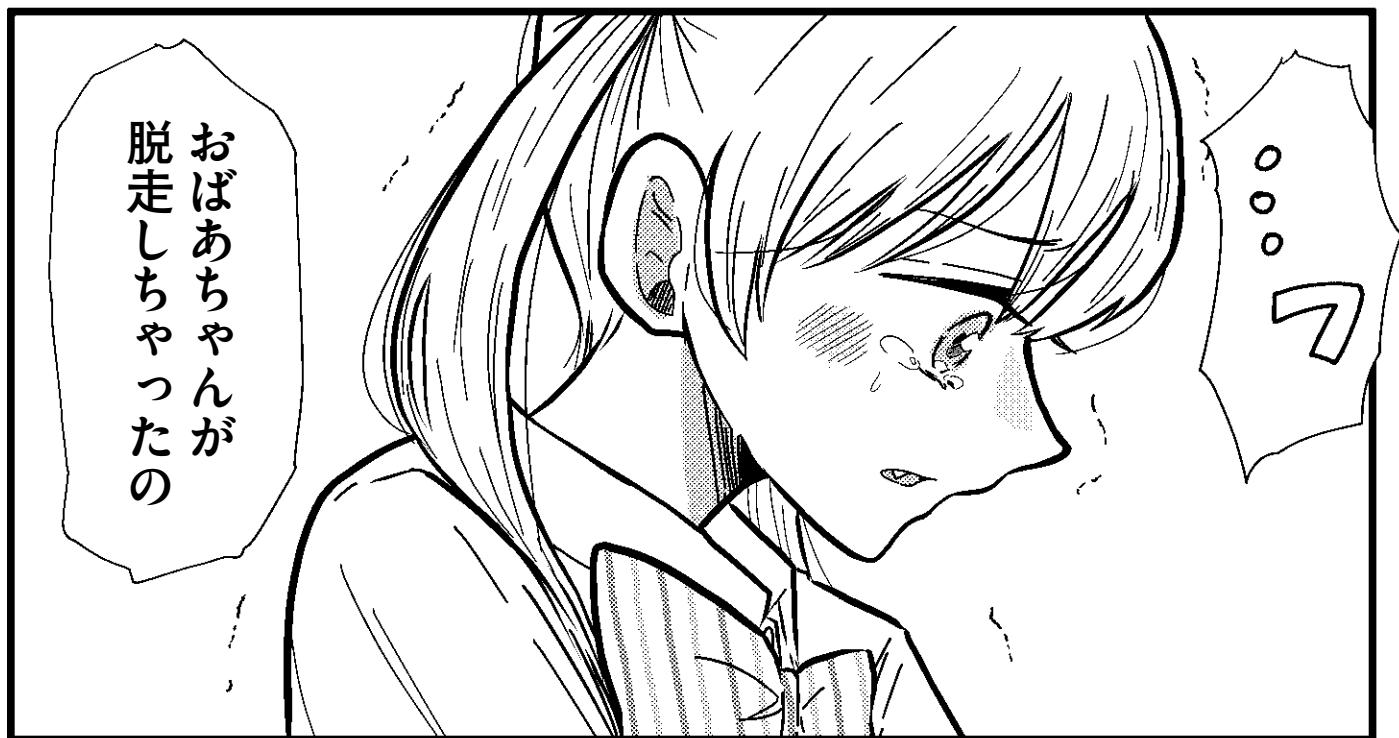
タロー君は
自分の時間も
将来もあつて
恵まれてるよ

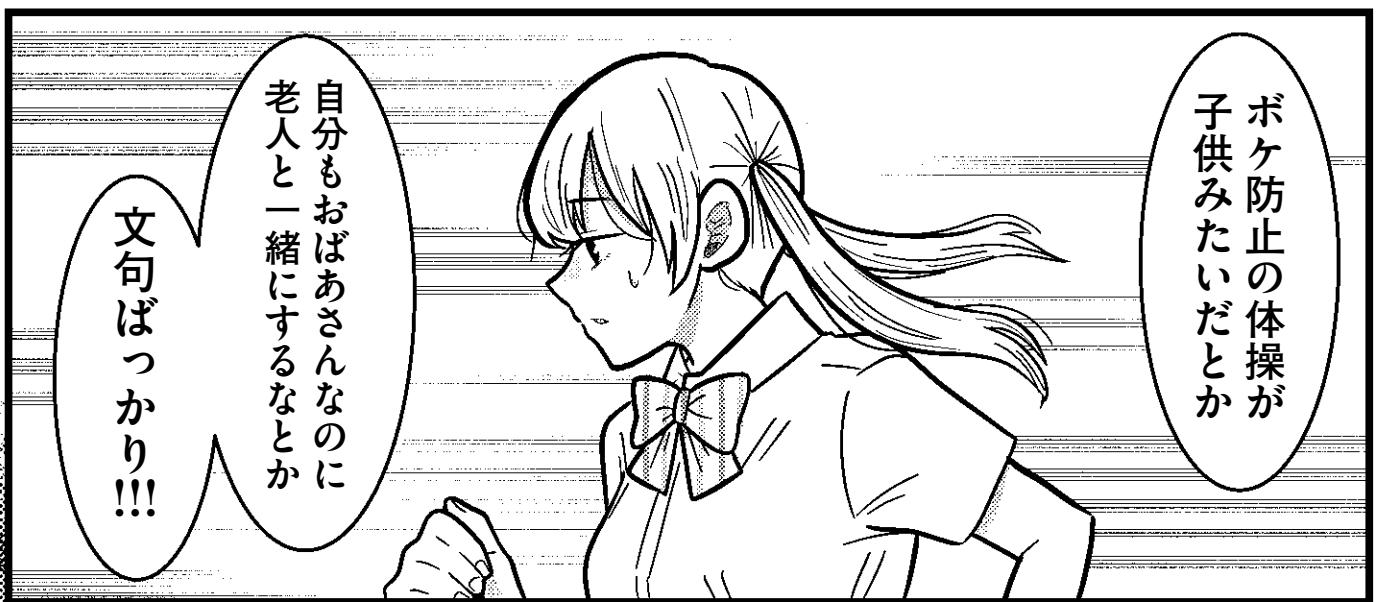
僕の気のせいいか？

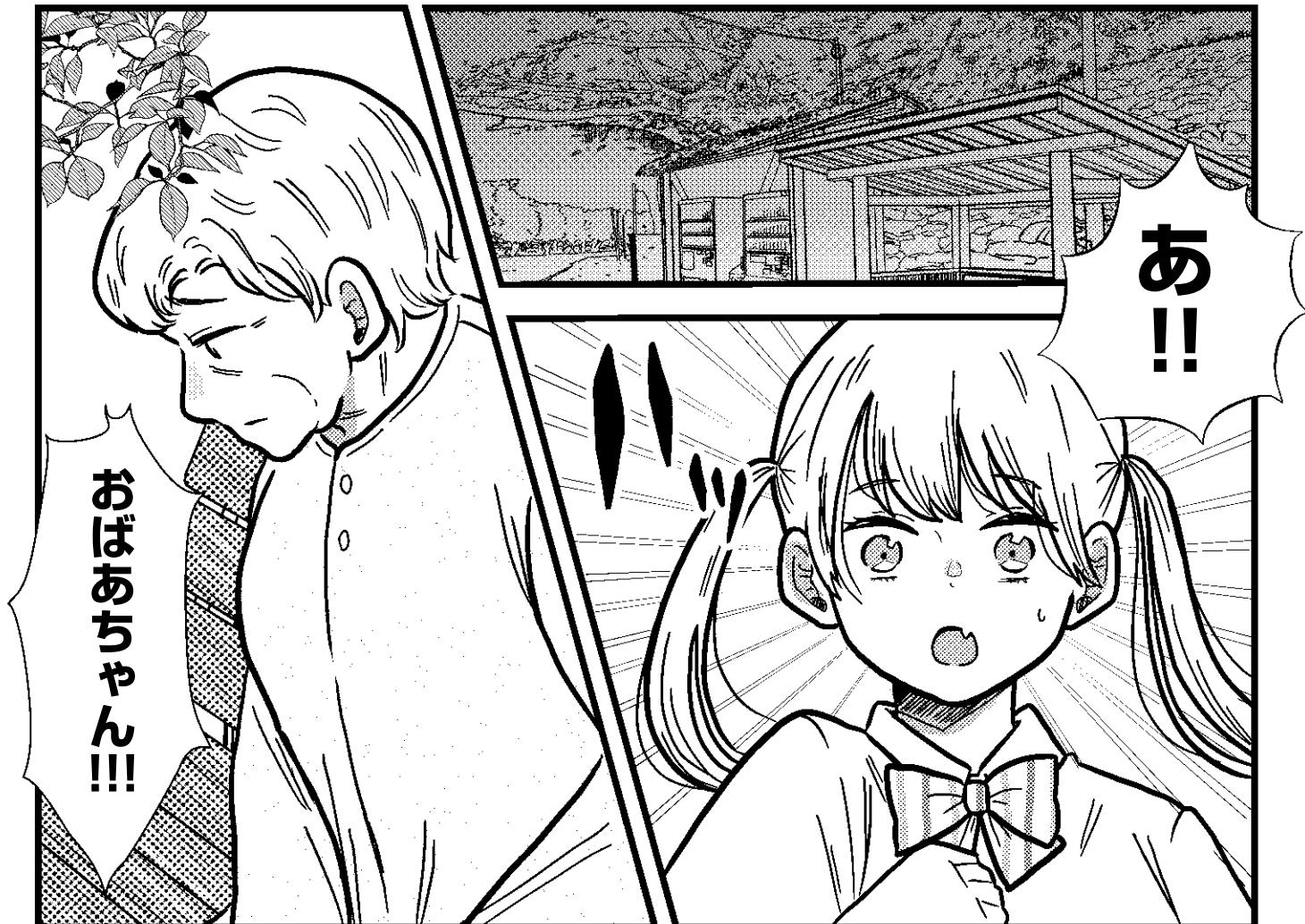
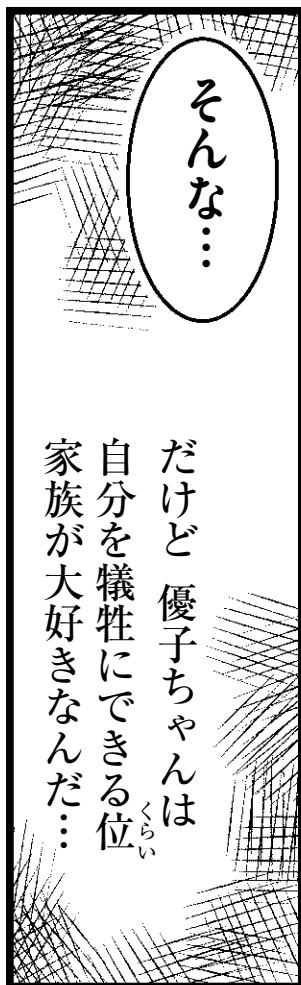
でも
わかり合えている
気がしないんだ

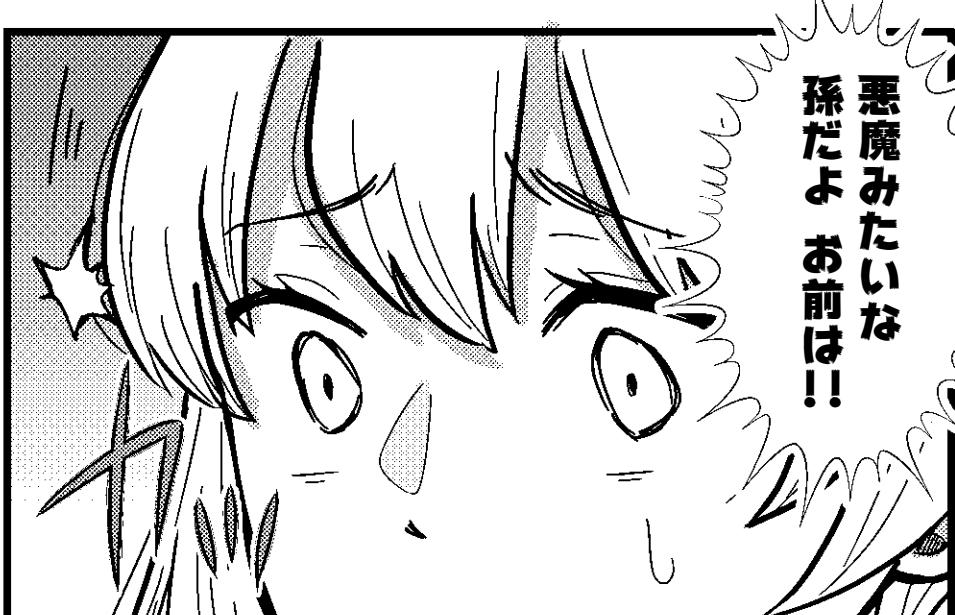
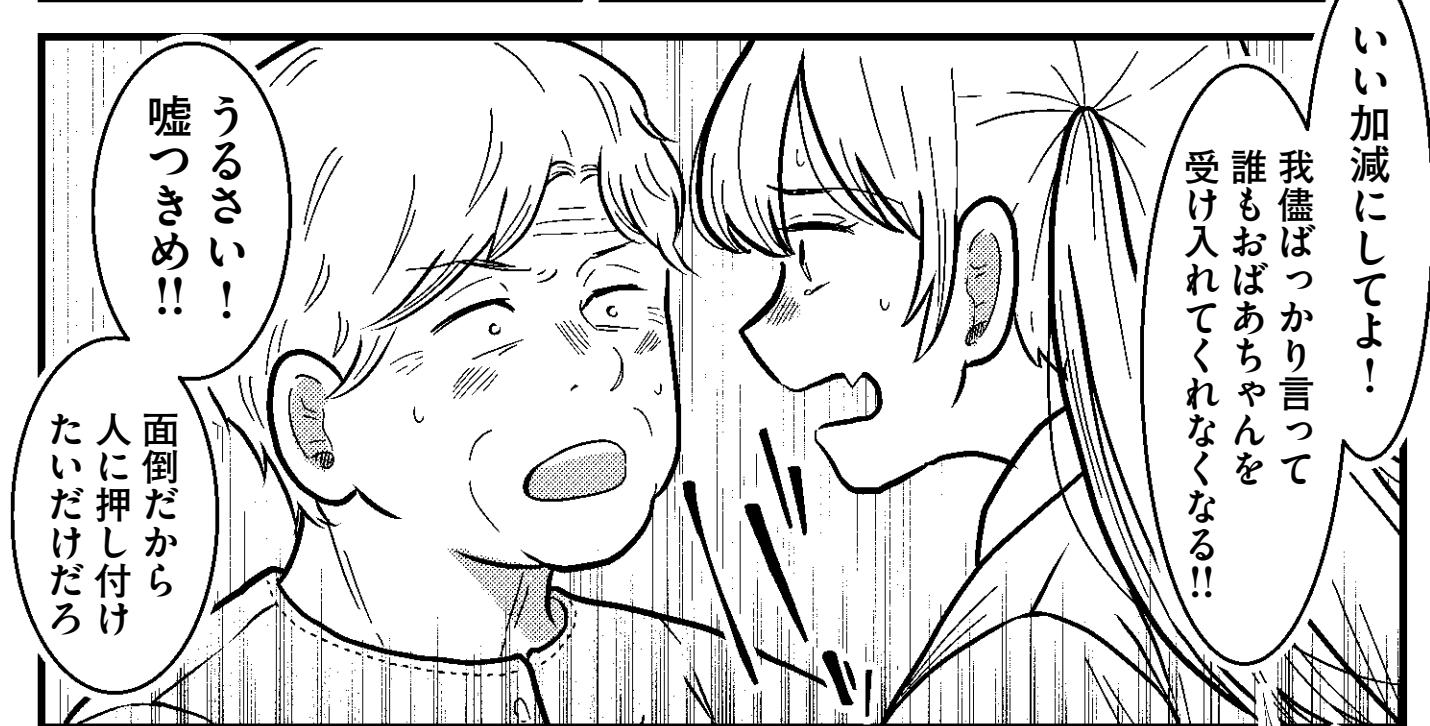
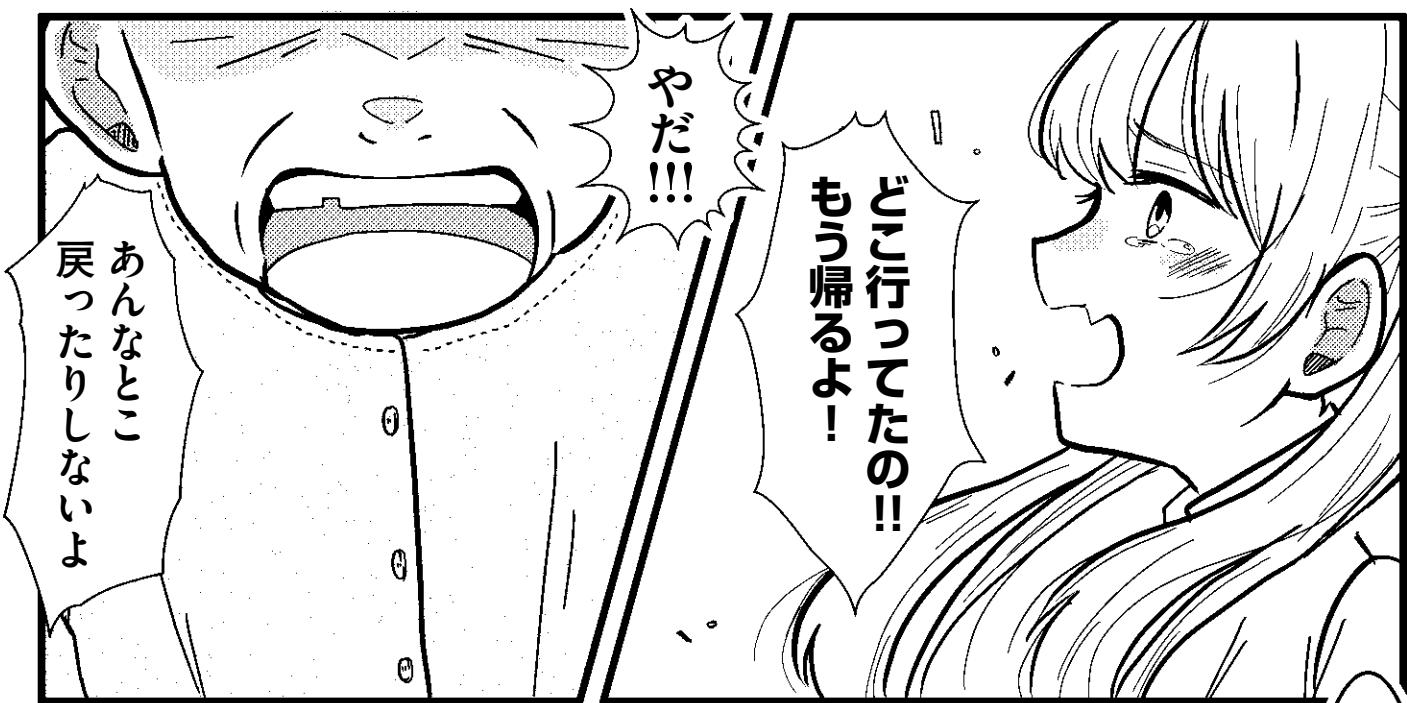
僕の辛さも
寂しさも
曝け出した

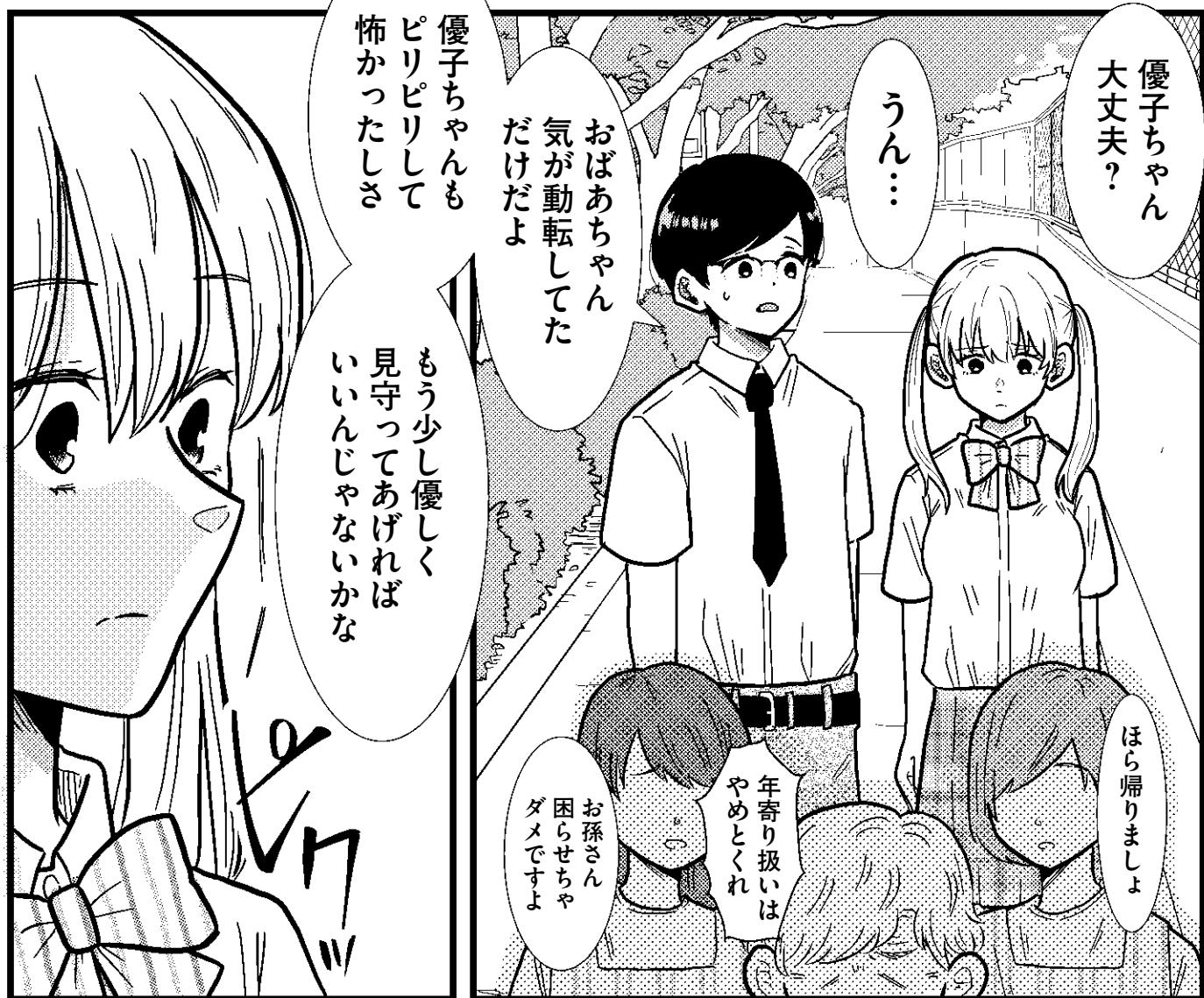


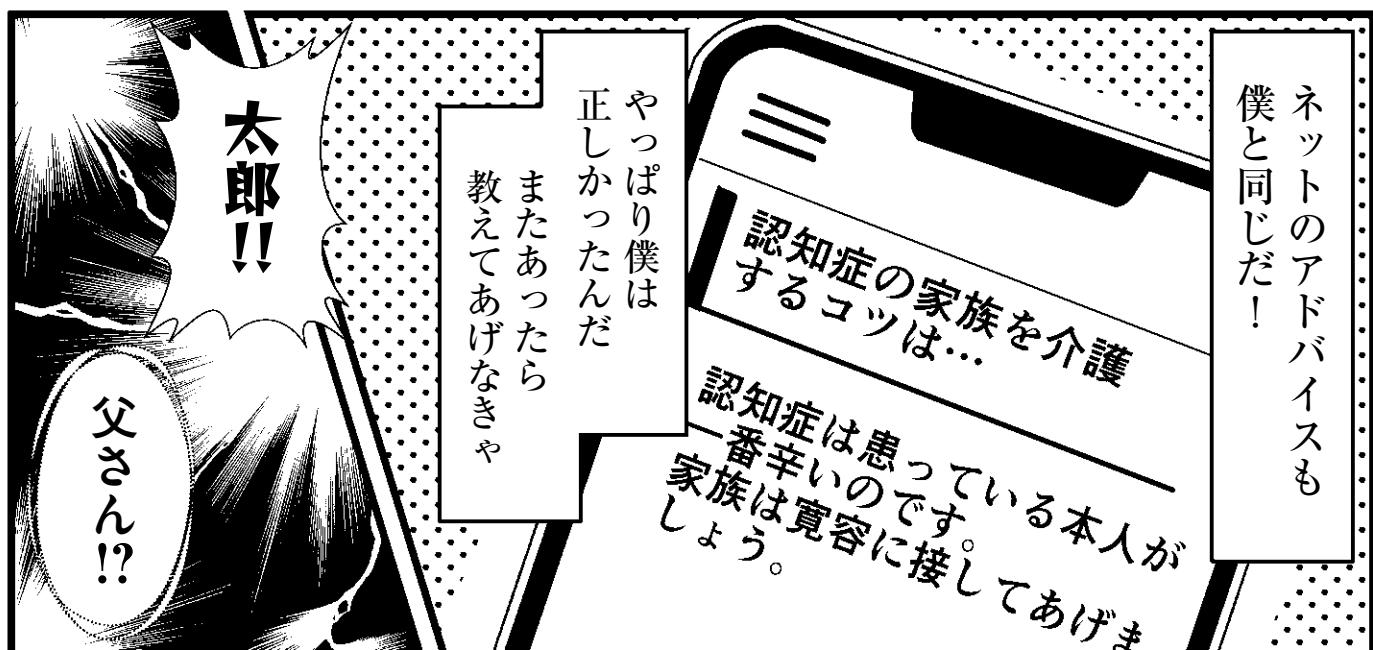


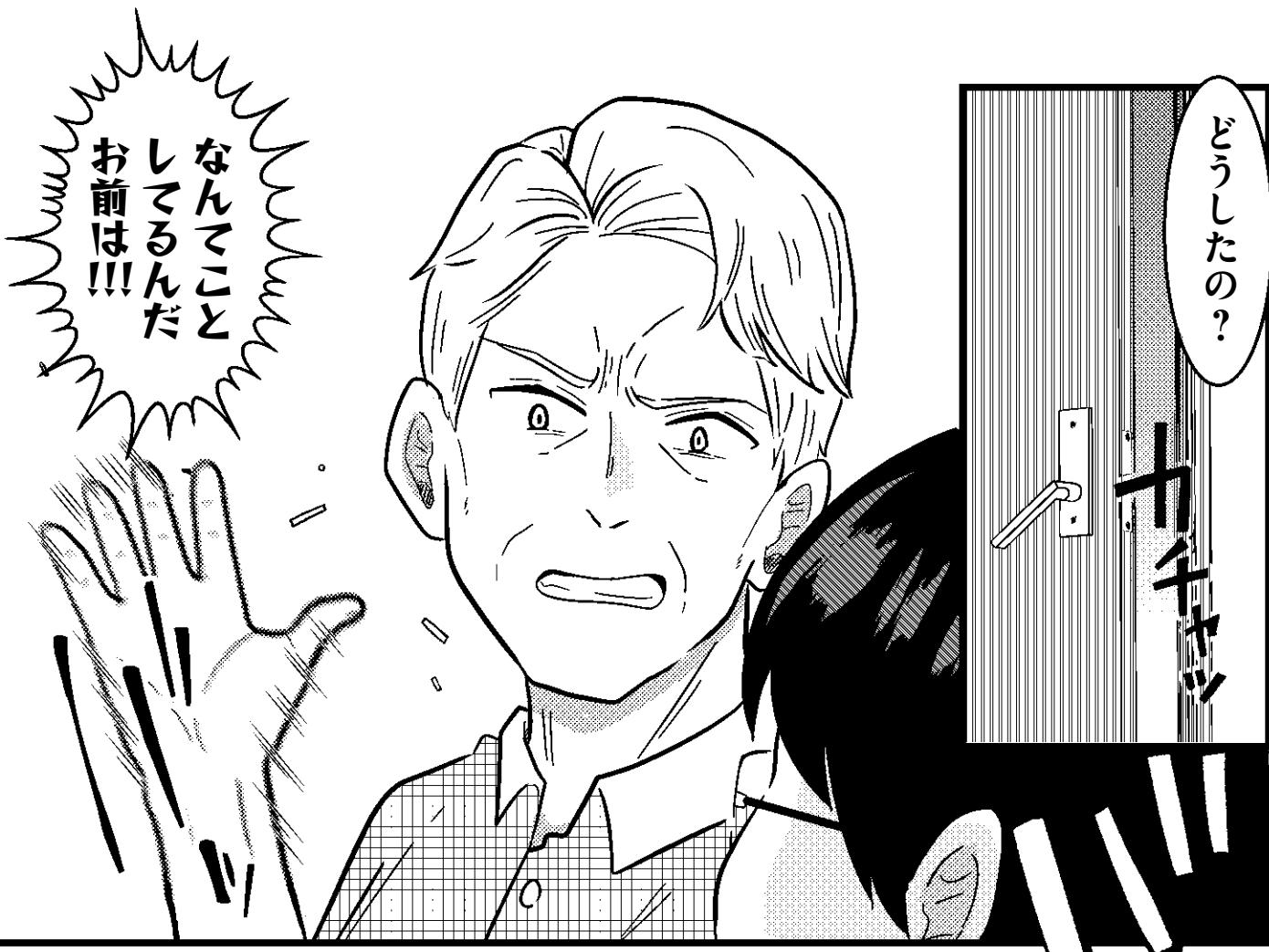












父さんは実際に利益しか見えてないのか…

優子ちゃんは実際に大変な思いをしてるのに



こんな奴が
政治家なんて！
軽蔑するよ!!

親に向かつて
なんだその目は!?



お前 跡取りの
自覚あるのか？

あとと

何言つてるんだ!!
お前は恵まれてるんだ
わかつてるとか?

父さんは家の
面子ばかり

誰も俺自身の
ことなんて
見てくれない

この家に生まれて
恵まれてるって
思ったことないよ

甘えたことを
言うな!!

もういい
父さんには
わかんないよ

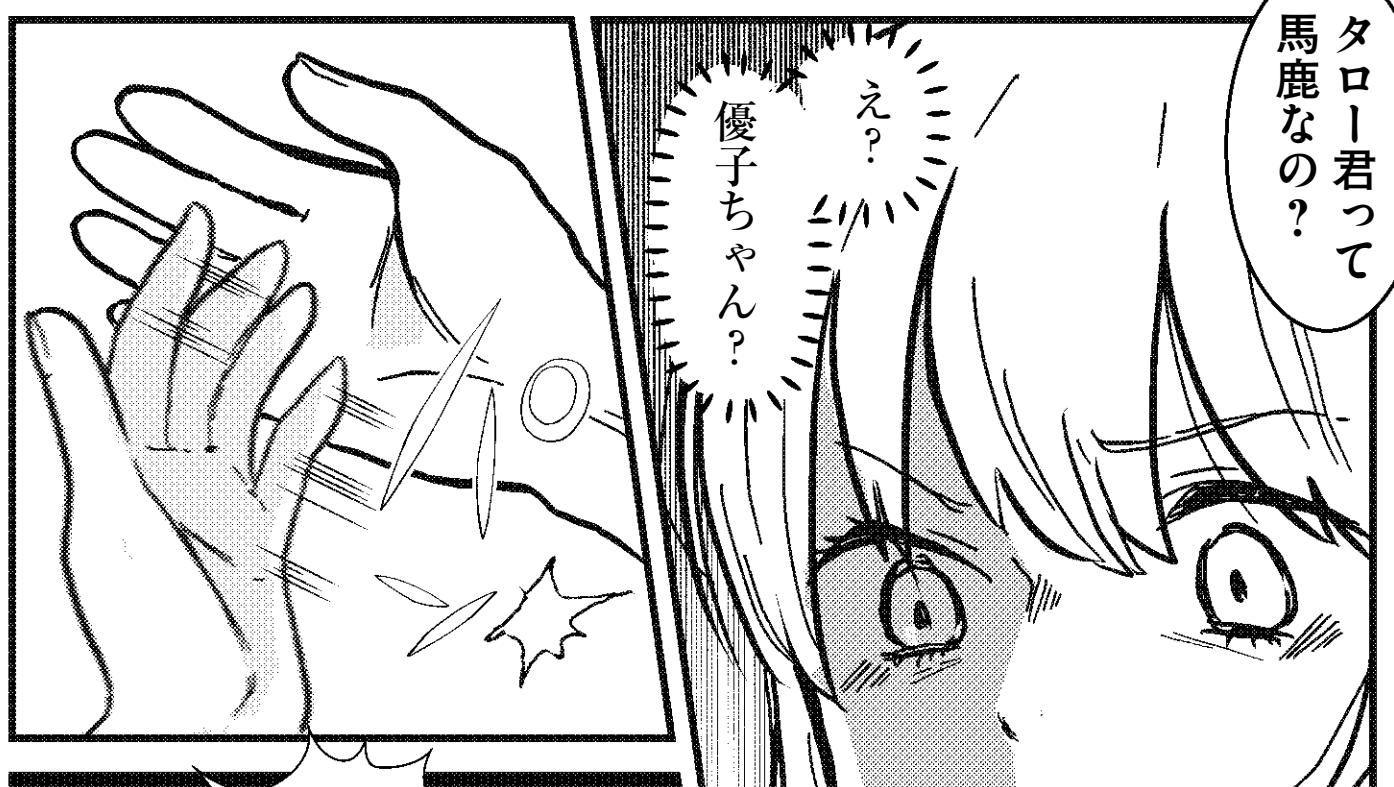
おい！ 太郎
どこ行くんだ！

これからどうしよう…
いつそこのまま
逃げたいくらいだけど





タロー君って
馬鹿なの？



私は毎日ギリギリで
踏ん張ってるの

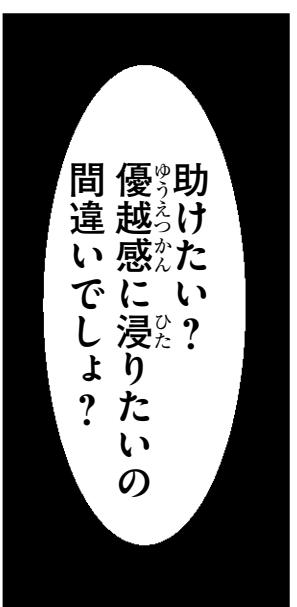
親のおんぶに抱だこなくせに
文句ばっかりのタロー君
と一緒にしないでよ!!

私がいなかつたら
誰がおばあちゃんの
面倒見るの?

あんな変わつても
あの人は家族なの

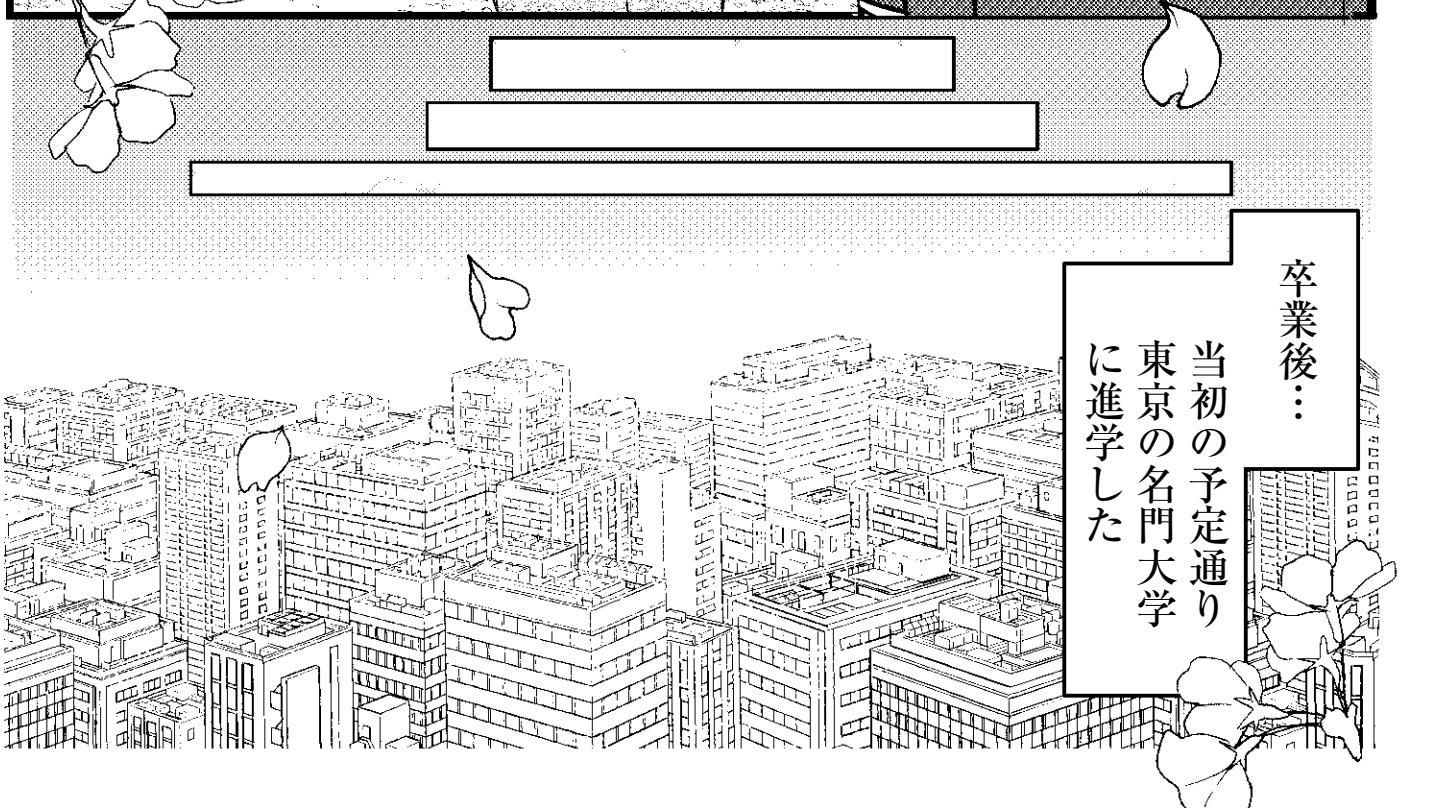
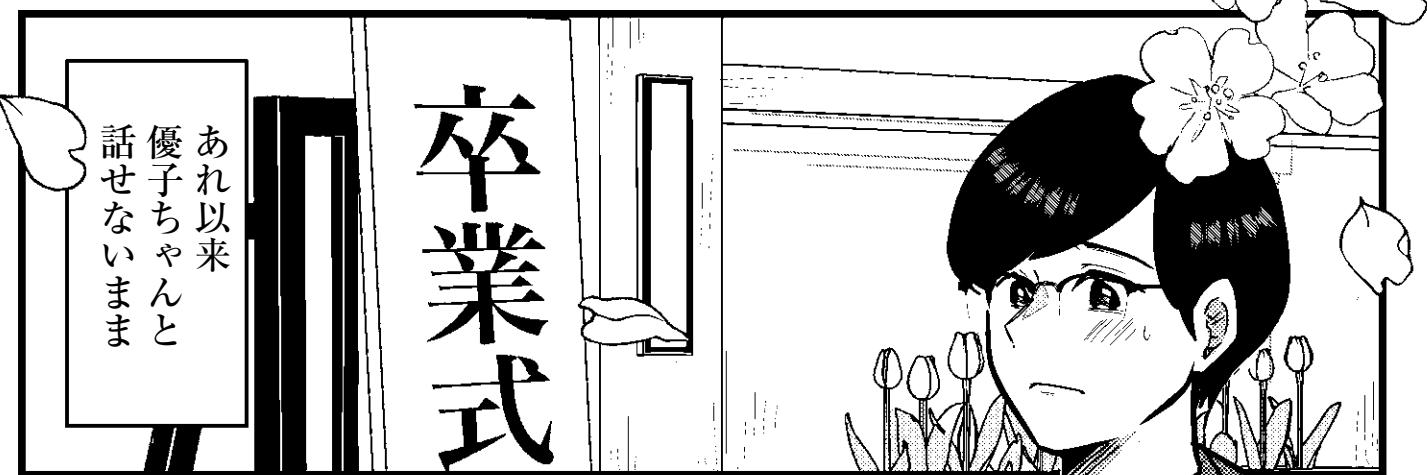
今も辛いけど
見捨てたら罪悪感で
もつと辛くなる

そりゃ
そんな
つもりじゃ
僕はただ力に
なりたくて…

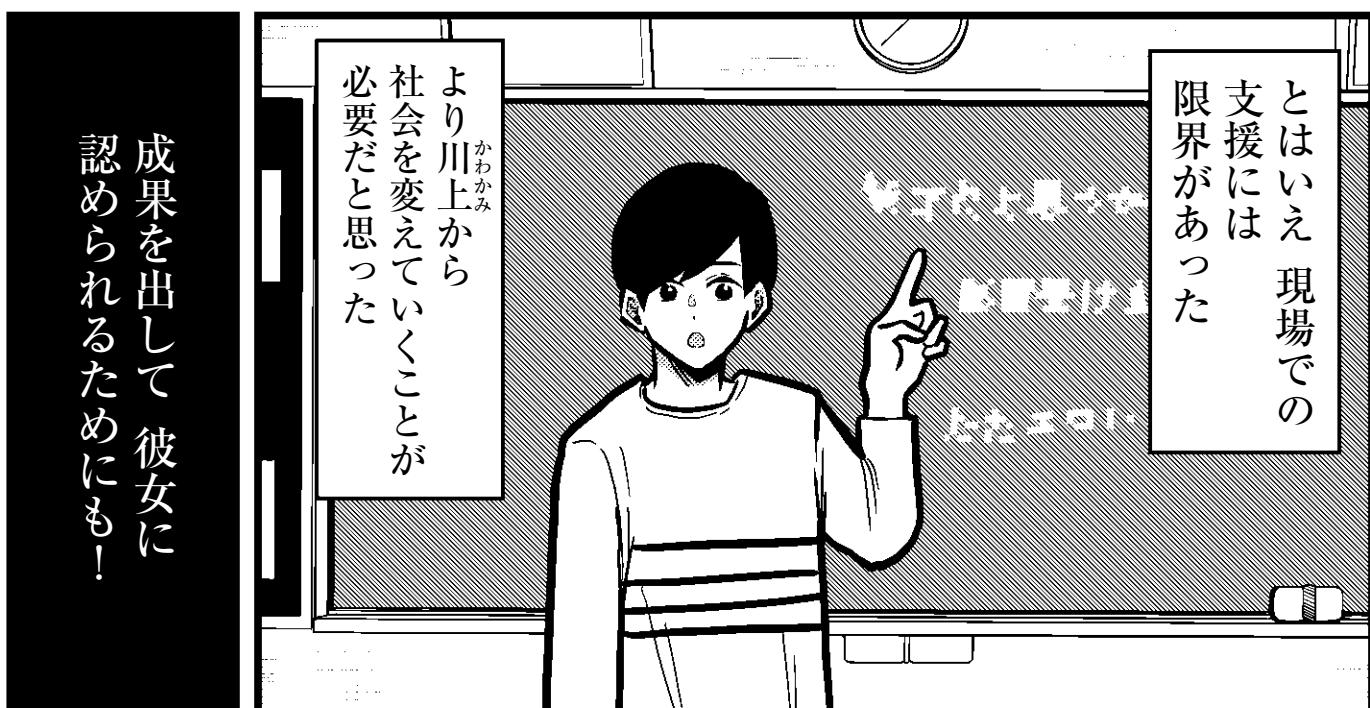
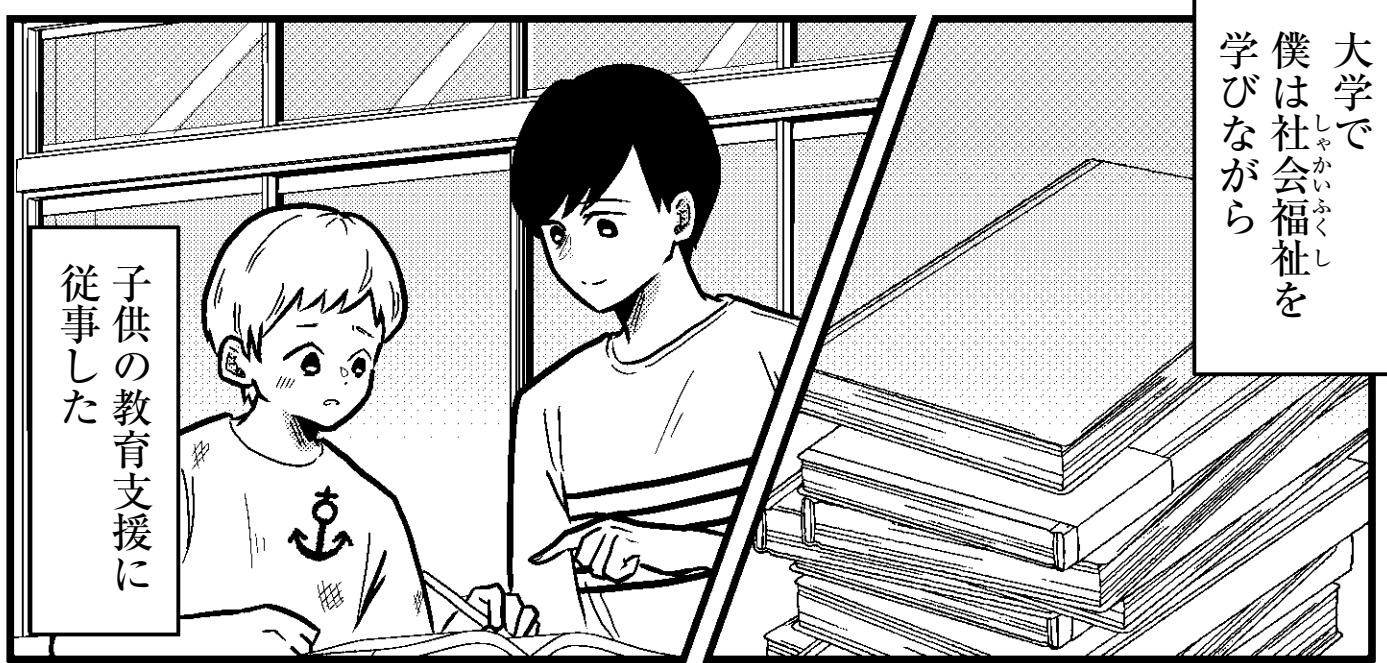


あの時の笑顔は
感謝じゃなくて…









そして 今年
父の跡を継ぐ
ことを決意した

